

## 「探究」の価値を体験通じ理解

VTS (対話型鑑賞)

の大きな成果は、生徒・教員共に「探究」の価値を、体験を通じて理解したことだ。まだ見えていないものがあるのではと観察し続け、より適切な言葉があるのではと探り続ける行為は、「探究」そのものである。友人や

### トキワ松学園中学校高校

①



VTSの成果の一つ。SDGsの取り組みでも活発な議論が行われている

教師の発言を受け、再考して  
を厭わず、新たな発見の  
機会として肯定的に捉え  
る様子は、学習・行事・  
部活に良い影響をもたら  
鑑賞し、湧き起こる感情

や考えを的確に伝えようと言葉を尽くす姿勢が、館内での会話や鑑

賞リポートに反映された。本校ではさまざまな教科が図書室を活用し、アクティブラーニングを行っている。VTSで培った探究の姿勢は、こうした場でも生かされている。

VTSは「教える」授業ではなく、生徒の発言が主体となる授業だ。フ

アシリテーターである教師は、生徒の発言を言い換え、関連付けることで足場架けを行うが、本質は生徒と共に思考の核心を捉えようとすることにあり、教師自身も常に探究し続けることが求められる。つまり、生徒も教師も対等な「探究者」なのである。

今後の課題は、全ての教師がファシリテーター

マインドを共有し、生徒の内発的な成長を促す方向に向かうよう教師自身のマインドセットの変革を加速させることである。そうすることで生徒の可能性を引き出し、自立を促す教育に近づいてい

VTSでは、生徒の率直な考えから生徒理解を深めたり、生徒が言葉を探す際に、一緒に知恵を絞ったりなど、教師も楽しみながら授業を行っている。終了時には、発言の有無にかかわらず、一人一人の内面的成長を実感する。それがVTSの醍醐味である。

(勝見浩代・小澤慶子  
司書教諭〈思考と表現〉  
担当)